

ハマボウフウ

Glehnia littoralis F.Schmidt ex Miq.
セリ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類 【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は20箇所である。前回調査以降に新たな自生地が確認されているが、県内での生育地は海岸に限られており、生育基盤が脆弱で、食用に採取されることがあるため、県域準絶滅危惧とした。

種の特徴

海岸の砂浜に生える多年草。根はゴボウ状で長い。茎は多毛で、高さ5～40cm、稀に1mにもなる。葉は厚く、1～2回3出羽状複葉、小葉や裂片は広くて先は丸く、鋸歯がある。6～7月頃、密な複散形花序をつける。分果は多肉で隆条は太い。

分 布

北海道～琉球に分布。県内では、坂井市、あわら市、福井市、越前町、敦賀市、美浜町、高浜町で確認されている。

生育を脅かす要因

生育地である海岸の開発。海岸への自動車の侵入による踏みつけ。食用のための採取。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○	○		○	○				○		○				○

オオカサモチ

Pleurospermum uralense Hoffm.
セリ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：— 【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は8箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が高山に限られているため、準絶滅危惧とした。

種の特徴

山地に生える大型の多年草。茎は太く、多汁で、高さは1.5mにおよび、上部の枝は対生、または輪生する。葉はやわらかくて大きく、1～3回3出羽状複葉、小葉や最終裂片は鋭く切れ込む。7～8月頃、大型の複散形花序をつける。

分 布

北海道、本州（中部以北）に分布。県内では、勝山市、大野市で確認されている。

生育を脅かす要因

生育地である高山・亜高山の植生の変化。温暖化による生育地の減少。登山道整備での注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

カノツメソウ

Spuriopimpinella calycina (Maxim.) Kitag.
セリ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：— 【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は6箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が限られているため、県域準絶滅危惧とした。

種の特徴

山林下に生える多年草。茎は単一で直立し、高さは50～100cm。根出葉や下部の葉は2回3出複葉、上部の葉は3出葉。8～10月頃に開花する。複散形花序は数が少なく、総苞片や小総苞片は線形で短い。果実は長楕円形で無毛。

分 布

北海道～九州に分布。県内では、大野市、福井市、越前市、敦賀市で確認されている。

生育を脅かす要因

生育地の開発。植生遷移による生育環境の悪化。シカ等の獣害による影響、外来種との競合も新たな脅威となる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○						○				○	○